

あなたにもとっておきの一日を。

# 15<sup>th</sup> anniversary

とっておきの音楽祭

## 15周年記念コンサート Part1

平成27年4月11日(土) 午後4時30分開場  
午後5時開演

仙台市シルバーセンター交流ホール

Koki, Yosuke, Kyo from閃雷/the voice of LOVE  
荒川知子とファミリーアンサンブル

一般3000円 学生1500円 小・中学生1000円 ※当日プラス500円

主催 とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI

共催 NPO法人オハイエ・プロダクツ

協力 オフィスQ アンビシャスミュージック 3Dファクトリー 音楽工房MOX

収益の全ては、第15回とっておきの音楽祭の開催費とさせていただきますので、ご協力のほどなにとぞよろしくお願いいたします

【お問合せ・チケットお申し込み】

とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI 事務局

仙台市青葉区本町2-9-3 6階 TEL 022-265-0980 FAX 022-716-5717

info@totteokino-ongakusai.jp <http://totteokino-ongakusai.jp>

とっておきの音楽祭

# 15周年記念コンサート Part1

2001年宮城県で開催された第1回全国障害者スポーツ大会の併催イベントとして始まったとっておきの音楽祭は、今年で15年目という節目の年を迎えることになりました。これもひとえに、皆様のご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

参加グループ133、演奏者数1300人で始まった音楽祭は、昨年14回目で324グループ、演奏者2700人まで拡がりを見せました。また、仙台のとっておきの音楽祭の理念に賛同して下さった有志により、北は秋田から南は九州鹿児島まで全国14か所で開催されています。

このように、日本最大級のバリアフリーイベントと言われるまでになりましたが、さらなるバリアフリーを進めるため、このチャリティーコンサートを皮切りに様々なイベントを企画しております。参加アーティストもとっておきの音楽祭でおなじみの豪華な顔ぶれ。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

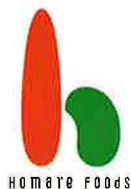
とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI  
実行委員長 伊藤清市

## とっておきの音楽祭

とっておきの音楽祭は、毎年6月第1日曜日に仙台市内各所で開催している、障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで、「心のバリアフリー」を目指す音楽祭です。毎年、県内外から数多くのグループが出演します。障害のある人もない人も参加し、心のバリアフリーを目指す屋外の音楽祭としては、日本最大規模です。2001年に仙台で始まったこの音楽祭は、東松島市、栗原市、秋田市、山形市、福島市、南相馬市、本宮市、会津若松市、盛岡市、枚方市、熊本市、人吉市、鹿児島市、鹿屋市でも開催され、2015年には兵庫県篠山市で開催と、全国に広がっています。合言葉は、「みんなちがって みんないい」。

第15回とっておきの音楽祭 2015年6月7日(日)開催

こんなクルマを町で見かけたことありませんか？  
食に関するパートナーほまれフーズが「食」のシチュエーションをお届け中です。  
レストランや飲食店の専門店ばかりではなく、施設やお料理教室等、「食」をテーマにされている方はどなたでも、なんでもご相談下さい。  
あなたがつくりたい「食」を一緒に考え、  
「おいしいって、しあわせ」づくりをお手伝いいたします。



業務用食材専門  
株式会社 **ほまれフーズ**

## Koki, Yosuke, Kyo from 閃雷



みちのくを中心に、津軽三味線と和太鼓を通して日本の伝統芸能の本質と向き合い若い世代の感性から生まれる新たな邦楽音楽を表現していく新世代邦楽ユニット。邦楽器の特性を生かし、邦楽曲にありがちな音圧だけのユニゾン楽曲ではなくアンサンブルとバンドスタイルが特徴。三代(娘・母・祖母)と一緒に鑑賞するコンサートは常に注目されている。

東日本大震災後は瓦礫(思材)から再生した楽器を制作し、楽器が津波で流されてしまった沿岸部の邦楽団体に寄贈するZEROONE瓦礫再生プロジェクトを展開し、自らもその活動の一環として瓦礫再生楽器でのコンサートを展開。この災害が風化しないよう、被災地から元気を取り戻そう!と全国で演奏活動を行っている。そんな支援活動の中から、共にみんなと奏でて来た曲を収録した「希望の鼓」をリリース。昨年、10年ぶりに行われた「GLAY EXPO 2014 in TOHOKU」ではGLAYとハイレベルなコラボレーションを行い、55000人の観客とWOWOW、ライブビューイング(日本各地・香港・台湾)でも話題となった。

## the voice of LOVE



音楽プロデューサーの猪狩太志を中心に、2012年に結成された『仙台最響』のボーカルグループ。メンバーの大半がプロの指導者、プロ・セミプロとして活動を行っているシンガーだけを厳選して揃えた、つまりメンバー全員がリードを取れる本格的なグループ。

2013年から開催されている「Tour de TOHOKU (Yahoo Japan/河北新報主催)」公式イメージソング「明日へのペダル」を手掛けるなど、オリジナル楽曲のクオリティには定評がある。

2013年1st Album「the voice of LOVE」を全国リリース。  
今春、約2年ぶりの2ndアルバムがリリースされる。

## 荒川知子とファミリーアンサンブル



荒川知子は千葉市出身。ダウン症の障害を持って生まれました。千葉市内の特別支援学級で学び、中学校から仙台に転居。いずみ養護学校の高等部・専攻科を卒業。現在、仙台市泉区にある作業所で働きながら、「荒川知子とファミリーアンサンブル」として、全国各地で演奏活動を続けています。

幼少の頃から音楽に親しみ、特にリコーダーでその才能を発揮し、コンサートでは笑顔とともに美しい響きを皆さんに喜んで頂いています。

2014年12月21日のBSプレミアム1時間ドラマ《金澤翔子親子の「お母さま、しあわせ」》のテーマ曲や挿入曲をリコーダー演奏で担当し、全国で好評を得ました。

おいしいしあわせ、配達中!!



〒984-0015 仙台市若林区卸町3丁目7-10  
TEL.022-238-5888 (代) FAX.022-238-3250  
e-mail info@homarefoods.jp  
H.P http://www.homarefoods.jp